



# 「もしも」でなく「いつも」備える時代。 マルチベンダーIT環境のシステム復旧 IBMの自動化ソリューションを効率化しませんか？

-IBMレジリエンシー・オーケストレーション-

ITインフラの多様化・複雑化により、お客様のシステム停止のリスクは年々増大する傾向にあります。IPAの報告によれば、システム障害事例は2017年後半から2018年前半の1年間で60件報道されています。いったん業務が停止してしまうと、お客様は売上損失だけでなく、さまざまな対策費用が必要になります。その復旧までにかかった総費用は、売上損失の約5倍といわれています。

「もしも」の場合でなく「いつも」迅速なシステム復旧が求められる時代。IBMは長年の実績と経験をベースに、お客様のシステムの安心安全な運用と迅速な対応をご支援します。

## ユースケース： ある金融機関のケース

4,000以上の営業店と12,000台以上のATMを擁するある金融機関では、複雑な災害対策環境に関する専門知識とスキル不足が大きな課題でした。しかも各種規制に対応するため、四半期ごとに災害対策のリハーサルの実施に加えてタイムリーな報告など、災害対策の実施状況を早期に可視化することが求められていました。

## IBMレジリエンシー・ オーケストレーションで解決

この金融機関では、複雑なシステム環境でも、構成管理、モニタリング、切替えの自動化が可能であり、災害対策リハーサルも確実に実行でき、その実施ログにより監査性も向上可能な**IBMレジリエンシー・オーケストレーション**を採用しました。これにより、リスクの低減と、サービスレベルの向上ならびにTCOの大幅な削減に成功しました。

### IBM 採用前

- テストやリハーサル中以外でのRTOやRPOの可視化が困難
- 復旧プロセスや手順書にミスの起こりやすい手順が存在
- 複雑な手順によるリカバリー時間の長期化と資源の枯渇発生
- 手でDRのテストやリハーサルを実施
- 従来のDRはITインフラのみにフォーカス

### IBM 採用後

- ダッシュボードによる定常的な監視とRTO/RPOの予測
- 事前に検証・定義されたパターンを活用した信頼性の高い自動手順書とプロセス
- 450以上の自動化ライブラリーを活用してリカバリー時間と資源を削減
- 自動化されたテスト計画や切り替えをオーケストレーション技術を活用して実施
- ビジネス・プロセスとアプリケーション・レベルで高度なワークフローを用いDRを管理

### 具体的な効果

- 現在の切り替え可能レベルを一目で把握することによる**運用効率化**
- 実績のある手順の横展開により作業のミスを事前になくすことによる**作業品質向上**
- 自動実行による作業時間の短縮と災害対策資源の効果的な割り当てによる**コスト削減**
- DRテスト作業の安定化・簡素化による**運用効率化**
- ビジネスアプリケーションレベルで災害対策を実現することによる**事業継続の高度化**

## IBMレジリエンシー・オーケストレーションによる具体的な効果の一例

|                           |                         |
|---------------------------|-------------------------|
| TCO <b>70%</b> 削減         | システムの可用性を <b>85%</b> 向上 |
| リカバリー時間の <b>50%</b> 削減    | リハーサル時間の <b>60%</b> 削減  |
| リカバリー要員の効率化 <b>5-10</b> 倍 | レポート作成時間 <b>95%</b> 削減  |

# <IBM レジリエンシー・オーケストレーション>



|             |   |
|-------------|---|
| <b>主な機能</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>お客様復旧環境の監視</li> <li>ワークフローによるシステム切替えの自動化</li> <li>復旧対策状況を可視化</li> <li>システム復旧手順の検証レポートを自動作成</li> </ul>  |
| <b>主な効果</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>自動化によるシステム復旧の作業精度の向上</li> <li>システム復旧目標(*RPO/RTO)の可視化</li> <li>柔軟なリハーサルの実現</li> <li>切替/切戻作業における人的ミスのリスク最小化</li> <li>復旧環境の増加に対する運用要員追加の最小化</li> </ul> <p><small>*RPO:目標復旧時点(Recovery Point Object), RTO:目標復旧時間(Recovery Time Object)</small></p> |

## IBM レジリエンシー・オーケストレーション サポート対象

| サポート対象領域         | 機能                                   | サポート製品  |
|------------------|--------------------------------------|---|
| MW (DB以外)        | 製品起動・停止                              | WebSphere、WebLogic、IIS、MS Exchange、MQ   |
| MW DB<br>MW 複製機能 | RPO、LOG Apply                        | SAP、SAP HANA、DB2、Oracle、PostgreSQL、MySQL、SQL Server、Database Native Replications、Oracle Data Guard、SQL Log Shipping、DB2 HADR  |
| ネットワーク           | DNS書換え、製品起動・停止、<br>負荷分散対象追加・削除       | CISCO、F5など  |
| OS               | 製品起動・停止                              | VMware、Linux、Windows、AIX、HP UX、Solaris、Oracle Exadata、FlexPod、z/OS、IBM System I OS(MIMIX)                                     |
| ストレージ/複製機能       | RPO、製品起動・停止                          | IBM Global Mirror、IBM SVC、NetApp SnapMirror、EMC SRDF、RecoverPoint、HP Continuous Access、Hitachi TrueCopy/UR、GDPS、Actifio、Zerto |
| Cloud            | インスタンス作成・起動・<br>停止、Storage Provision | AWS、IBM Cloud   |

## IBM レジリエンシー・オーケストレーション (PA) 参考価格

| パーツナンバー | 製品名称  | 参考価格(税別) |
|---------|---|----------|
| D1UP7LL | IBM Resiliency Orchestration -Virtual Machine Image Resource Value Unit License + SW Subscription & Support 12 Month (仮装サーバー 1システム単位)   | 123,800円 |
| D1UPALL | IBM Resiliency Orchestration -Bare Metal Machine Image Resource Value Unit License + SW Subscription & Support 12 Months (物理サーバー 1システム単位、論理分割 (LPAR: Power Systems, IBM Z等) 単位) | 664,500円 |

\*この他に2年目以降規定の保守料金が掛かります。詳しくはお問い合わせください。  
\*\*内容は予告なく変更されることがありますのであらかじめご了承ください。



### お問い合わせ

電話番号：0120-550-210

受付時間：平日9時から17時

(土日祝日および12月30日から1月3日を除く)

「レジリエンシー・オーケストレーションの件」とご依頼ください

IBMレジリエンシー・サービス 詳細についてはWebサイトをご覧ください。

IBM レジリエンシー

検索

[ibm.biz/resiliency\\_jp](http://ibm.biz/resiliency_jp)



日本アイ・ピー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21

02-19 Printed in Japan

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては [ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) をご覧ください。  
本書に掲載されている情報は 2019 年 2 月現在のものです。仕様は予告なしに変更される場合があります。記載の簡易診断結果は IBM 社内の調査に基づくものであり、全ての場合において同等の結果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境その他の要因によって異なります。また掲載されている製品・サービスは、IBM がビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。  
本書の内容は現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは暗示の補償責任または保障条件を含まないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。 n